

日曜日は、七夕です。

昨年は、七夕の読み方についてお話をしました。

今年は、これから、願いごとが叶う短冊の書き方についてお話しします。

さて、昨年度、乞巧奠（きこうでん）について少しお話をしました。この乞巧奠（きこうでん）が七夕の短冊に深く関わってきています。

さて、もう一度乞巧奠（きこうでん）について確認しましょう

乞巧奠（きこうでん）

乞巧奠（きこうでん）は、織女星にあやかってはた織りや裁縫が上達するようにと、7月7日にお祈りをする中国の行事。庭先の祭壇に針などをそなえて、星に祈りを捧げる。やがてはた織りだけでなく芸事や書道などの上達も願うようになった。この行事が日本の七夕行事の由来の一つとも言われている。

裁縫や手芸の上達を願ったことから糸が供えられていました。高価だった糸は供えられない代わりに紙を切って供えていたのが短冊の始まりで、お習字の上達を願って短冊に書いたことが、後に、江戸時代では、短冊に願いことを書くとその願いが叶うと言われるようになったそうです。

短冊の五色は、色によって意味が違います。

青は人間力を高める
赤は両親や先祖に感謝する
黄は人間関係を大切にする
白は義務や決まりを守る
紫は学業の向上

となっています。

よって、短冊に願いごとを書く時は、この意味に近い色を選ぶのがよいとされています。

短冊に願いごとを書く時、「～できますように」「～になれるように」と言った書き方をしていませんか？しかしそれでは、願いごとが叶えられる確率は低くなってしまいます。実は、願いごとが叶う短冊の書き方というのがちゃんとあるのです。

それはずばり「～できる」「～になれる」と断言して書くこと。だったらいいな、叶うといいな、ではなく、「絶対にこうなる！叶う！」と言い切って書くのです。言葉に記して書くことで、自分自身の意識が変わり、夢が叶いやすくなると言われています

今度の日曜日は降水確率50%です、空が晴れて皆さんの願い事が叶うようをお願いしたいですね。

